

オーストラリアレポート

# 豪州の2020年1-3月期GDPと足元の豪ドル相場の回復

- 豪州の1-3月期GDPは9年ぶりのマイナス成長となり、4-6月期の景気後退も避けられない見込み。
- 森林火災やコロナ危機の影響で消費が大幅に減少。しかし、主要国の中ではGDPの落ち込みが最も軽微。
- コロナ問題の早期収束期待などから豪州の消費者心理が正常化へ向かうなど豪州景気の先行きに明るい兆し。
- コロナ危機の早期収束や経常黒字拡大など豪州経済の再評価から、豪ドル相場はコロナ危機前の水準へ回復。

## 1-3月期の実質GDPは9年ぶりのマイナス成長

豪州の2020年1-3月期の実質GDP（国内総生産）は前期比-0.3%と、2011年1-3月期以来、9年ぶりのマイナス成長となりました（図表1）。

コロナ感染拡大の抑制に向けた入国者への隔離規制の影響などから、4-6月期の実質GDPは一段の落ち込みが予想されており、景気後退（2四半期連続の前期比マイナス成長）は避けられないとみられています。

## 民間消費の大幅な減少が実質GDPを押し下げ

豪州の1-3月期の実質GDPがマイナス成長となった要因として、2020年初に深刻化した森林火災に加え、3月以降の新型コロナウイルスの国内感染の影響が挙げられます。

特に1-3月期の成長率を押し下げたのは、GDPの約6割弱を占める民間消費の大幅減少でした（図表2）。新型コロナウイルスの感染抑制のため、豪州においても各種経済活動を制限する規制が強化されたことなどから、1-3月期の実質民間消費は前期比1.1%の減少となりました。

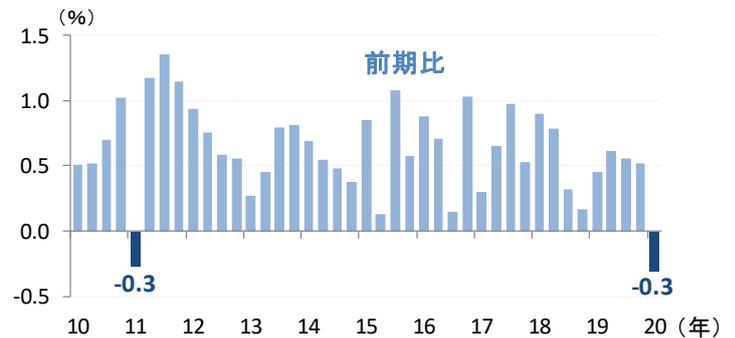
また、その他のGDPの構成項目に関しても、1-3月期は住宅投資（前期比-1.7%）や民間投資（同-0.4%）などの民間部門の経済活動の縮小がみられました。

## 主要国の中で豪州のGDPの落ち込みは最も軽微

主要国の1-3月期の実質GDP成長率の結果を比較してみると、豪州の成長率の落ち込みが最も軽微であったことが分かります（図表3）。

中国では1-3月期の実質GDP成長率は前期比-9.8%の大幅な下落となりました。感染が拡大した欧州主要国も前期比2.0~5.0%台のマイナス成長となったほか、米国（前期比-1.3%）や日本（前期比-0.9%）でも豪州の成長率を下回りました。

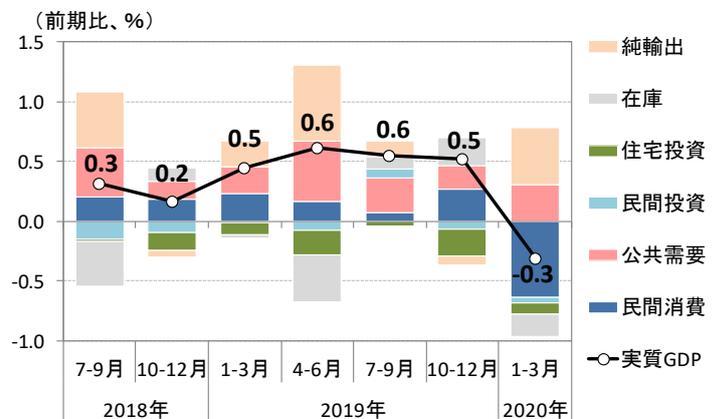
図表1：豪州の実質GDP成長率の推移



(出所) 豪州政府統計局

(期間) 2010年1-3月期~2020年1-3月期 (四半期)

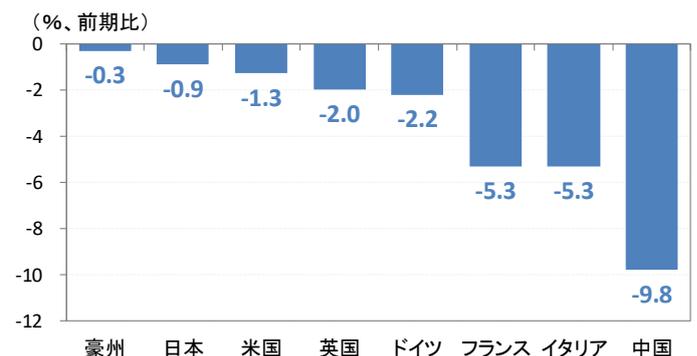
図表2：豪州の実質GDP成長率の需要項目別寄与



(出所) 豪州政府統計局

(期間) 2018年7-9月期~2020年1-3月期 (四半期)

図表3：主要国の1-3月期の実質GDP成長率の比較



(出所) 各国公式統計

### 消費者心理の改善が民間消費の持ち直しに

豪州の1-3月期の実質GDP成長率を主に押し下げたのが民間消費であったということは、今後の豪州景気の先行きにも民間消費が重要であると思われます。

消費者心理が3月下旬で底を打ち（図表4）、回復傾向にあることから、今後、民間消費の持ち直しが期待できそうです。

### 民間消費の回復により景気回復が期待される

新型コロナウイルス感染に終息の兆しが見えてきたことで、豪州の消費者心理は改善に向かったものと思われれます。一方、感染拡大が止まらず、感染者数・死亡者数ともに世界一の米国では消費者心理は悪化を続けています（図表4）。

今後、米国において新型コロナウイルスの感染拡大が終息する方向に向かえば、消費者心理の改善に伴い民間消費が回復し、景気回復も期待できるものと思われれます。米国経済をはじめとした世界経済が回復することで、投資家のリスク選好姿勢が強まり、株高・資源高が進めば、資源国通貨である豪ドルが選好されることもありそうです。

### 豪ドル相場はコロナ危機前の水準まで回復

為替市場では、コロナ危機前の水準まで豪ドル相場は急速に値を戻しつつあります。豪ドルの対米ドル相場は節目の1豪ドル=0.7米ドルの水準に近づきつつあり、対円相場も1豪ドル=75円近辺へ回復しています（図表5）。背景として、次の2つの点が挙げられます。

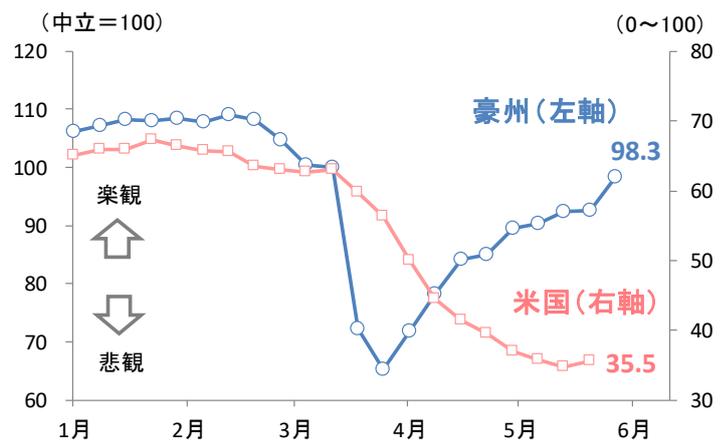
第一に、コロナ危機の収束に向けた楽観論が世界の金融市場に広がりつつあり、米ドルから資金を分散させる動きが見え始めている（=米ドル安が進行している）ことです。

第二に、豪州経済のファンダメンタルズの優位性への評価がなされていると考えられます。豪州国内では、新型コロナウイルスの感染終息に向けた政策対応が奏功し、経済活動の本格的な再開が視野に入りつつあります。また、主要輸出資源である鉄鉱石価格が上昇傾向にある中、豪州の1-3月期の経常収支が過去最高の黒字額を更新したことも、豪ドル相場の支えとなったと言えます（図表6）。

#### 《参照マーケットレポート》

オーストラリアレポート（2020年5月28日）「コロナ危機からの豪ドル相場回復を支える3つの要因」

図表4：豪州と米国の消費者信頼感指数の推移



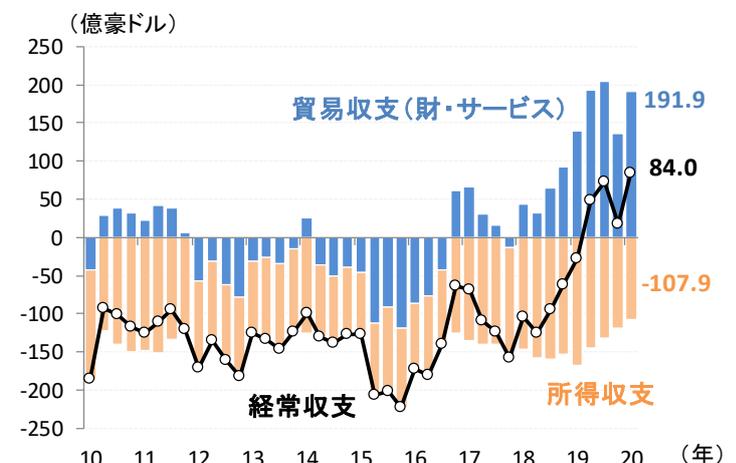
(出所) ANZ・ロイモーター、ブルームバーグ  
(期間) 2020年1月5日～5月31日 (米国は5月24日) (週次)

図表5：豪ドル相場 (対米ドル、対円) の推移



(出所) ブルームバーグ  
(期間) 2020年1月1日～6月3日 (日次)

図表6：豪州の経常収支の推移



(出所) 豪州政府統計局  
(期間) 2010年1-3月～2020年1-3月 (四半期)

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、レグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>